9 2026 August 園だより

社会福祉法人　双葉福祉会
つつじが丘ふたばランド保育園
〒300-1236
牛久市田宮町 199-1
TEL029-871-6928

今月の予定から・・

●アルファー米を食べよう。（1日）

・今年も、防災の日（9/1）にちなみ、アルファー米とけんちん汁、そして離乳食の子は、備蓄品のお粥を食べる経験をします。



●秋まつり（5日）

・秋まつりに向けて神輿担ぎや盆踊り、出店ごっこをクラスや異年齢で楽しんでいる所です。行事当日の参加は2歳児以上のクラスですが、にじぐみやひかりぐみも園内での活動を楽しんでいます。※土曜保育は行いません。

●ピヨピヨひろば（8日）

・地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」として、月1回設定保育を実施しています。園開放も行っていますので育休中の方もどうぞ遊びに来て下さい。

●交通安全教室（8日）

・今回も4・5歳児での参加になり、教化員の方に命を守る交通安全について教えていただきます。

●リトミック②（15日）

・今月も中島先生と一緒にリトミックを楽しみますよ。教えていただいたリトミックは朝の会などでも行っています。

●おべんとうデー（16日）

・まだまだ暑い時期が続きますので、お弁当の蓋の上に保冷剤を乗せてご持参ください。乳製品、要冷蔵のものは入れないでください。

●避難訓練（16日）

・いざという時の為に避難の訓練を行います。この日は消防署への通報も行う予定です。

●誕生会（17日）

・1年に1回誕生児にとって大切な日を「おめでとう！」と心からお祝いします。

※誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。

●巡回相談（25日）

・年数回、経験豊富な心理や発達の専門家の先生が保育園を訪問しています。日頃のお子さんの育ちで気になる事等があれば、アドバイスをしてもらうことが出来ます。ご相談等ありましたらどうぞお声がけ下さい。

お願い

●筑波登山遠足（10月1日）（ぞうグループ）

・ぞうグループの子ども達がつくば登山に挑戦します。困難な場所もありますが、みんなで力を合わせて頂上を目指します。※詳細は後日手紙でお知らせいたします。



行事予定表

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	秋まつり（2歳児以上）※土曜保育無し
6	日	
7	月	体操
8	火	ピヨピヨ/交通安全教室
9	水	
10	木	体操
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	体操
15	火	リトミック②
16	水	避難訓練/お弁当デー
17	木	誕生会
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	巡回相談
26	土	
27	日	
28	月	体操
29	火	
30	水	
31	木	

○キッズビューの記入について

・毎日のキッズビュー内「ご家庭より」の入力は9時までにご入力ください。引き続き、お子さんの体調把握の観点からも記入漏れがないようどうぞよろしくお願い致します。

○降園時間の駐車場利用について

・17時00分～18時00分の間はどうしても駐車場が混み合います。皆さんで駐車場の譲り合いにご協力いただきますようお願いします。また、駐車場では必ずお子さんと手を繋いでくださいね。

○敬老の日の手紙について

・毎年敬老の日の手紙を園にお持ちいただき、投函などの活動を行っていましたが、例年の異常な暑さや時代の流れに伴い、今年度からは行わないことにしました。

◇以前勤務しておりました[redacted]ですが、9月7日より非常勤看護師として勤務致します。どうぞよろしくお願いいたします。

ある月のカレーの日のかまど係の様子です。かまど係になったぞうグループの子どもたち数名が力を合わせて火を育てていきます。

私が行うことは、①かまどの中にある丸めた新聞紙にチャッカマンで火を着けること、②火傷など怪我になりそうな時には未然に防ぐこの2点です。

新聞紙に火を着けると、かまど係の子たちはじーっと火を見つめます。そのまま新聞紙は燃えて火が消えました。かまど係の子たちはお互いの顔を見合って何も言わずにいると、その様子を側で見ていたぞうグループの子が、「早く薪を入れなきゃ消えちゃうよ」と教えてくれました。私は「そうだね、どうすればよかったかわかったかな?」と聞くとみんなが頷いたので2個目の新聞紙を用意し、火を着けました。すると今度は竹をかまど口に良い具合に入れていきます。しかし、急ぐあまりに竹は火が着いた部分ではない所へ…かまど内の火は消えてしまい、「なんで消えちゃったんだろうね?」と問いかけると、A君が「火じゃない所に（薪を）置いたから」と答えます。私は「そうだね、気をつけることがいっぱいだね。よしもう1回チャレンジだ！」とかまど係を勇気付け、3度目の火を新聞紙に着けました。流石3回目となると薪を入れるスピードを保ちながら、丁寧に竹を火の上にくべていき、見事火が着きました。子どもたちから歓声が湧き、その後のかまど係の仕事も自信たっぷりに行っていました。

失敗を重ねながら、成功体験を保障していくプロセスはとても大切だと思っています。

過度な先まわりや制限が子ども自身の気づきや学びの機会を狭めてしまいます。転ぶ、（食べ物を）こぼす、（着替えなど）思うようにならない・・・は「失敗」というより「うまくいかない経験」ととらえて、そのような経験の中で子どもが考えて、工夫し、次へとつなげていく力が育まれていくのだと思います。

今後も、安心して何度も失敗できる環境を用意して、職員一同、子どもたちに向き合っていきたいと思います。

園長　沖本（おきもと）　恭大（きょうた）